

## 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

## 【 1. 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 青少年自立援助センター
機関・団体代表者	理事長 工藤定次
所在地	〒197-0011 東京都福生市福生2351-1
電話番号	042-553-2575
FAX番号	042-551-6759
メールアドレス 本研修担当者	<a href="mailto:ysc@interlink.or.jp">ysc@interlink.or.jp</a> 担当者名：河野久忠
HPアドレス	<a href="http://www.npo-ysc.jp/">http:// www.npo-ysc.jp/</a>
研修実施場所（所在地と異なる場合のみ記載）	〒
設立目的（概要で可）	日本の将来を担う青少年の健全育成を考える時、全ての青少年にその機会が提供されるべきである。不登校、ひきこもり状況に陥った青少年が、社会参加できないことは、当事者、保護者にとって育成の機会を失ったことに他ならない。当センターは、当該青少年が自ら尊厳を持ち、積極的に社会参加できるよう寮生活を通して、心の傷の回復や、人間同士の信頼関係、基本的生活習慣の立て直し、将来に対する目標を持つことができるようサポートする。
職員数	全職員数 80名（常勤37名 / 非常勤43名）
機関・団体におけるアウトリーチの特徴や特色を記載	当法人では開設以来アウトリーチ事業を基軸とした青少年自立支援活動を全国的に展開してきた。近年、景気の低迷等の影響もあるのか、地域に関係なくニート層が多く目につくようになってきた。しかしながら、実際にアウトリーチをできる機関は少なく、そのスキルも一定ではないのが現状である。そのような、状況に対して一定スキルを持った人材の育成が急務と考えられる。当法人では、年間300件超の訪問支援を実施していて、その臨床例も多く蓄積されている。20、21、22年度においては、東京都委託事業のひきこもり支援「コンパス」で支援員向けの講座をおこなった。23年度からは「東京都若者者聞参加応援事業」でも民間団体・公的機関職員向けの講座を実施している。より実践に近い形で、座学よりはロールプレイの時間を多くとり、また訪問支援の同行も行った。それにより、各々の現場において有効なアウトリーチの実践をおこなえるようになったとのご報告をいただいている。そのような部分のノウハウも研修事業の中で生かして行き、研修後直ぐに役立つ内容としたい。そのような人材が多く輩出されれば、各地域において、早期対応ができるようになり、ひきこもり

	状況が厳しくなる前に対処できると共に、予防的な側面も期待できる。本事業において多くの人材が広域に展開されればと考えている。
機関・団体で運営している相談・支援機関名	あだち若者サポートステーション
	いたばし若者サポートステーション
	多摩若者サポートステーション
	黒潮若者サポートステーション
	フリースペースわかば（セーフティネット足立）

## 【 2 .平成 27 年度中のアウトリーチの実績概要】

<p>訪問件数 250 回以上。</p> <p>対象 全国の概ね 10 代～30 代のひきこもり・ニートの方。</p> <p>支援方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士、精神保健福祉士等の専門職の参加。</li> <li>・インテーク面接における専門的な聞き取り、アセスメント。</li> <li>・対象者に対して信頼関係の構築、情報提供、誘導を慎重に行っている。</li> <li>・家族に対する心理面のサポート、家族関係の調整。</li> <li>・定期的なケース会議を実施。</li> </ul>
--

## 【 3 .過去 3 年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

<p>あだち若者サポートステーション（厚生労働省）</p> <p>いたばし若者サポートステーション（厚生労働省）</p> <p>多摩若者サポートステーション（厚生労働省）</p> <p>黒潮若者サポートステーション（厚生労働省）</p> <p>足立区若年者就労支援事業（足立区）</p> <p>中途退学未然防止及び中途退学者等への支援事業（東京都）</p> <p>青梅市における若者の自立等支援体制整備事業（青梅市）</p> <p>こうとうゆーすてっぷ（ひきこもり支援事業）（江東区）</p>
---

#### 【 4. 過去 2 年間における子ども・若者の支援に係る研修実績】

<p>東京都若者社会参加応援事業 27 年 4 月～ 28 年 3 月</p> <p>『訪問支援員実践講座』</p> <p>一般の支援団体向けのアウトリーチ講習</p> <p>『東京都若者社会参加応援事業研究団体（訪問支援）向け講習』</p> <p>座学・ロールプレイ・訪問同行・事例検討会</p> <p>『公的機関向け訪問支援員実践講座』</p> <p>保健士・福祉事務所ケースワーカー・スクールカウンセラー等が参加</p> <p>回数</p> <p>年間に第 1 期、第 2 期と 2 回開催している。</p> <p>1 期につき、3 日間の講座。</p> <p>対象</p> <p>東京都内の支援団体の職員で現在訪問支援を行っているか、今後行う予定の方。</p> <p>研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士、精神保健福祉士等の専門職による座学。</li> <li>・インテーク面接、訪問場面のロールプレイ</li> <li>・当センターのフリースペースでの現場実習</li> </ul> <p>地域支援者向け講習会（東京都青少年・治安対策本部）28 年 3 月</p> <p>民生・児童委員・保護師・公的關係者等</p>
---

#### 【 5. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る担当者、受入条件、研修内容等】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割(職名)	氏名	・関連保有資格 ・アウトリーチの経験年数
1	統括責任者	河野久忠	教員免許 訪問支援歴 22 年
2	主任訪問支援員	三橋風太	訪問支援歴 8 年

	受入条件
受入可能な日程	10 月 24 日(月)～10 月 28 日(金)(5 日間)
受入可能な人数	2 名
保有資格の要否、 その他の受入条件	特に無し
研修期間中にアウトリーチを行う予定回数	1 名につき一回以上

